

責任ある鉱物調達方針

協立金属工業株式会社

2020年7月1日

近年、コンゴ民主共和国(the Democratic Republic of the Congo : 以下 DRC)における、反政府武装勢力による地域住民への非人道的な行為や環境破壊が国際的に大きな問題となっています。

反政府武装勢力は、DRC およびその隣接国で不法に採掘されたタンタル、錫、タンゲステン、金などの鉱物を資金源としていることから、これらの鉱物は「紛争鉱物」と呼ばれており、米国における「金融規制改革法 紛争鉱物条項」の成立や、「OECD 紛争地域および高リスク地域からの鉱物の責任あるサプライチェーンのためのデュー・デリジェンス・ガイダンス」の公表など、武装勢力の資金源を断つことを目的として、当該鉱物を製品などに使用している企業に対して適切な対応を行うことが強く求められています。

当社は社会における責任を果たすべく、以下の方針のもと、適切な対応を行ってまいります。

基本方針

1. 当社は、人権を尊重しいかなる非人道的行為への直接的・間接的加担を回避するため、武力紛争や人々に広範に危害が及ぶその他のリスクが存在するような、紛争地域及び高リスク地域における武装勢力との関係が疑われる原材料を使用しません。また、環境及び持続可能性に係る責任を果たせないおそれのある原材料調達は行いません。
2. 当社は、原材料調達に関するリスク評価を定期的に行い、紛争地域および高リスク地域における武装勢力との関係が疑われる原材料であることが判明した場合、また環境及び持続可能性に係る責任を果たせないおそれのある原材料であることが判明した場合は、直ちに当該原材料の購入、使用を停止します。

購入・使用しない原材料の定義

当社は、コンゴ民主共和国およびその周辺国をはじめとする紛争地域及び高リスク地域において、非人道行為を行う武装集団・テロリストと関りがある又は資金源となり得る紛争鉱物およびそれらから派生する原材料と、環境及び持続可能性に関わる法規違反又は法規違反の可能性が高いことが判明した原材料を、「高リスクの原材料」と定義します。

「高リスクの原材料」の不使用

当社は「高リスクの原材料」を購入、使用しません。また、購入あるいは使用した後に当該原材料が、「高リスクの原材料」であると判明した場合は、当該原材料の購入、使用及び使用された当社製品の販売を即時に停止します。

管理体制と責任

1. 当社は、原材料調達を原材料使用部署が当方針に沿ってリスク評価を行い、代表取締役の承認のもとで実施します。
2. 代表取締役が定める内部監査者は当方針に則って「高リスクの原材料」を排除しているか定期的に監査し、本方針の適切な運営の責任を負います。

原料購入先に関するデュー・デリジェンスの実施

当社が調達する、金・銀・錫及びタングステンを含む原材料の全ての供給者についてデュー・デリジェンスを実施し、リスク評価を行います。リスク評価の結果、内部監査者が「高リスクの原材料」と判断した場合は、当該原材料の使用及び購入を停止します。